

つるい村



“提案参加型の村づくり”を考える

2017年11月9日

1

シンボルビューあふれる 「美しい村づくり」の提案

タンチョウ

先人の庇護

コスモス

日々の丹精

シラカバ

環境の保全



つるい村の自然と人が育てた 3つのシンボルを 美しい村づくりにつなげよう



北海道鶴居（つるい）村はタンチョウと酪農の村として知られ「日本で最も美しい村連合」に加盟（64の村と町）している人口2,500人の村です。つるい村のシンボルは鳥はタンチョウ、花がコスモス、木がシラカバとされています。

住戸の庭先や道端にコスモスが咲きシラカバ林や並木が増え、そしてタンチョウが空を舞い地に遊ぶ――。

そのような風景を根付かせてゆくには、村民の自主的な取り組みが大切と考えます。――そして、数年後、村民・子どもたち・村を訪れる人々がカメラを手に美しい村の風景を写真に収め「シンボルビュー写真展」が開催できたら・・・と。